

別図第二号(第36条の2第1項第2号関係)

1 インマルサットC型を使用するもの

呼出しの種類 (注1)	自局の識別表示	相手局の識別表示	遭難の位置及び時刻	遭難の種類	通報に係る事項 (注2)	誤り検定符号
----------------	---------	----------	-----------	-------	-----------------	--------

注1 「10100011」(最後に送るものにあつては「10100001」)であること。

注2 船舶の進路等をコード化したものであること。

2 インマルサットM型を使用するもの

同期符号	呼出しの種類 (注1)	自局の識別表示	相手局の識別表示	遭難の位置 (注2)	通報の型式 (注3)	誤り検定符号
------	----------------	---------	----------	---------------	---------------	--------

注1 「00100001」であること。

注2 空中線の仰角及び方位角をコード化したものであること。

注3 引き続き行う通報の型式等をコード化したものであること。

3 インマルサットF型を使用するもの

同期符号	呼出しの種類 (注1)	自局の識別表示	相手局の識別表示	通報の型式 (注2)	遭難の位置 (注3)	誤り検定符号
------	----------------	---------	----------	---------------	---------------	--------

注1 「11100011」であること。

注2 引き続き行う通報の型式等をコード化したものであること。

注3 船舶の位置をコード化したものであること。